

# かりの光昭

みつ あき

活動レポート No.47

スピード  
誠実  
実行



弁護士の無料相談が  
うけられます

かりの光昭 連絡事務所 /

〒970-8017 いわき市石森二丁目2の11 TEL・FAX : 0246-23-3538

E-mail karino@karino-m.jp ホームページ http://karino-m.jp

フェイスブック 狩野光昭/フェイスブック

携帯 : 090-7564-3253

## いわき市議会12月定例会

議案・一般質問等(2023年12月7日~21日)

プロフィール

- 1952年北茨城市磯原町木皿の狩野菓子店(現:狩野食堂)に生まれる
- 磯原高校・立正大学文学部・福島大学経済学部・福島大学行政社会学部卒業  
福島大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 国鉄労働組合水戸地本福島支部から全建総連福島に勤務後いわき市議

## すべての小中学生の学校給食費無償化を

●無償化は、わずか0.9%で実現可能なのに…

**問** すべての小中学生の学校給食無償化は県内では郡山市をはじめ、29市町村で実施しています。

物価高で子育て世帯の生活はますます厳しくなっています。子育て支援の観点から無償化を実施すべきでは。市長に問います。

**答** 国の動向を注視します。

**問** 市長の「人づくり日本一」の政策の優先順位からみても、来年度に実施すべきでは。

**答** 国の動向を注視します。

**要望** 児童・生徒の健康の観点から、有機食材を利用した学校給食の導入を要望します。

### 【学校給食費無償化 予算に占める割合】

令和5年度一般会計当初予算総額	約1,467億6千万円
学校給食費無償化の費用	約13億3千万円
その割合は	約0.9%
令和5年度末財政調整基金残高見込	約91億円

### 【学校給食費 保護者負担額】

小学校	1食 約280円×175日=49,000円
中学校	1食 約326円×175日=57,050円

## 下水道使用料 23.23%引き上げ等に反対

下水道事業会計が赤字等の理由で、本年4月から、20㎥で使用料を月809円引き上げ4,309円にする議案に反対しました。

引き上げ後は、県内13市で1番高く、中核市62市でも1番高い使用料となります。

物価高などで市民の暮らしや市内経済も厳しくなっています。一般会計から繰り入れを行い使用料は据え置くべきです。静岡県伊東市では引き上げ議案を撤回しています。

また、市長等の特別職や市議会議員等の期末手当増額の議案も、市民生活が厳しいなかで理解が得られないと反対しました。

しかし、賛成多数で可決されました。

## 高齢者・児童・生徒等の移動手段の確保を

**問** 大規模なバス路線廃止・減便の市民への影響は。

**答** 今回の公表では、主に都市部に係るものとして、住宅団地への乗り入れや湯本市内循環などの路線が廃止される内容となっています。さらには、中山間地域における入遠野地区や、菊田小学校を発着する主に通学に用いられている路線などが廃止されるものです。

今回の路線バスの運行廃止・減便が進められた場合、これまで利用してきた市民はもとより特に運転免許を持たない高齢者や児童・生徒などに不便を強いる、大変厳しい内容であると認識しています。

**問** 地域住民の移動手段の確保は。

**答** 今年度川前地区でNPO法人による自家用有償旅客運送の運行を開始する予定です。また、久之浜・大久、四倉地区で定額タクシーの実証運行を実施します。

**問** バス・タクシー運転手確保の取組は。

**答** 市としてプレミアム付き回数券の発行支援など経営を安定化させる等の支援を行ってきました。今後は、他都市の事例等を踏まえ、国・県等と連携していきます。

**問** ライドシェア導入に反対を。

**答** 現状では、利用者の安全性や交通事業者の衰退等が懸念されるなど、様々な課題が指摘されています。既存の交通業者との共存・共栄を大前提で、利用者の安全性確保等の議論や制度等に注視します。

### 【ライドシェアとは】

二種免許を持たない、一般のドライバーが自家用車を使い、有償で人を目的地まで送迎を行うサービス。

## インボイス制度の廃止を

10月からインボイス(適格請求書)制度が導入され、売り上げ1,000万円以下の小規模事業者が消費税課税業者となり、数十万円の税や事務の負担が生じます。

**問** 小規模事業者の支援、育成の観点から、インボイス制度の廃止も含めた見直しを国に求めるべきでは。

**答** その制度の趣旨を踏まえ、適切に対応します。

## ● 台風13号 床下浸水被害者への支援拡充を

**問** 床下浸水被害者に、市の被災者救助費救助金の適用を。

**答** 適切な配分対象者について検討します。

**問** 床下浸水被害者に、住宅の応急修理制度の適用を。

**答** 県を通じ国に対し、制度の拡充を要望します。

## ● 小名浜港の整備・促進の取組は

【総取扱貨物量の推移】(万ト)				
平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1,624	1,592	1,591	1,621	1,609

【コンテナ貨物の推移】(TEU)				
平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
22,614	23,520	18,456	15,345	16,607

**問** コンテナ貨物量を増やす取組は。

**答** 県・市・港湾事業者などで「福島県小名浜港利用促進協議会」を結成し航路誘致等、様々なポートセールスを行っています。

**問** 港湾労働組合が「小名浜港港湾脱炭素化推進協議会」の構成員となるための取組は。

**答** 市は県に計画の実効性を高めるよう、働きかけていきます。

## ● 障がい者雇用の促進を

【市内民間企業における障がい者の雇用状況：令和4年】						
令和4年	企業数	法定常用	雇用されている障がい者数	実雇用率	法定雇用率達成企業数	法定雇用率割合
	256社	34,073人	779.5人	2.29%	164社	64.1%

【就労継続支援等の雇用の状況：令和4年】			
	事業所数	利用者数	平均工賃月額
就労継続支援A型	6事業所	112人	79,522円
就労継続支援B型	35事業所	655人	16,754円
就労移行支援	10事業所	79人	
就労定着支援	3事業所	16人	

**問** 通勤での支援の充実は。

**答** 運転免許証取得時の費用の一部助成や就労継続支援事業所等が、利用者の送迎を行った場合には、障害福祉サービス等報酬への送迎加算が算定される等を周知します。

**問** サービス管理責任者等研修制度の募集回数を増やす取組は。

**答** 研修回数の増加や資格を取得しやすい研修日程について、県に要望しています。

**問** 農福連携の今後の取組は。

**答** 関係者間で情報共有を密にしながら取り組めます。

## ● 犬・猫の殺処分ゼロの取組は

**問** 殺処分を減らす活動をしている団体等との連携は。

**答** 市内の動物愛護団体、行政区、「動物たすけ隊☆キッズサポーター」との連携をより一層深めます。

**問** 犬・猫の殺処分を減らす取組について伺います。

**答** 第一に、保健所は、終生飼養の啓発を進めるとともに、不妊去勢手術費の助成事業を行っています。第二に、鑑札をつけるなど、所有者の明示を啓発しています。第三に、新たな飼い主へ譲渡するため、関係機関と連携し譲渡事業に取り組んでいます。

また、動物の愛護と、適切な管理に対する関心と理解を広く市民に深めてもらうため、「動物愛護ふれあいフェスティバル」を開催しています。

**問** ペットとの同行避難の取組は。

**答** 受入体制の充実を図り、市民への啓発に努めます。

	殺処分数	
	犬	猫
令和2年度	9頭	172匹
令和3年度	1頭	108匹
令和4年度	0頭	74匹



永崎小学校 ペット同行避難訓練

## この間の取り組み



ALPS処理汚染水放出差止訴訟集会 (9月8日)



いわきウイング建設組合清掃ボランティア (9月10日)



台風13号被災地支援・調査 (9月13日)



社民党福島県連合県に台風13号被災者救済等を要請 (9月15日)



「化学物質等健康被害相談センターいわき」総会 (9月16日)



いわき鳴き砂を守る会豊間海岸清掃・鳴き砂調査 (10月28日)



第11回国労フクシマ交流学習会で講演 (11月20日)



「グルッとニツ箭山」スタッフで参加 (11月26日)



社民党いわき双葉総支部市に公共交通の維持・存続を要請。(11月29日)



カザ即時停戦を求め街宣 (12月3日)



「福島第一原発の被ばく労働について」を講演 (12月3日)



小名浜地区労定定期大会 (12月6日)



いわきウイング建設組合インボイス制度学習会 (12月10日)



くらし・労働なんでも相談会 (12月24日)

### ほうもん記

先日、テレビ放映された40年前の山田太一脚本「車輪の一步」で、障がい者に対して「人に迷惑をかけることに怖れるな」のセリフに、私も共感しました。出演した俳優は「効率や生産性が重視され、忙しい社会の中で人間本来持っている優しさを思い出させられた」と指摘しています。

現在も、障がい者に限らず、一人親世帯、高齢者、生活困窮者など、生きづらい社会が広がっている様に思います。人に迷惑をかけてはいけないという道徳を追い詰めていくと、人に迷惑をかける人間は抹消しても良いという恐ろしい考えに繋がっていく可能性も潜んでいます。

私たちが先日実施した「くらし・労働なんでも相談会」が10回目を迎えました。お米等を支援する人と支援を受ける人が増えています。どのような状況に置かれても共に助けあって生きていく社会の実現にむけ、行政と共に今年も頑張ります。